

計画事業番号	00094	事務事業名	障がい者施設開放等支援事業	担当部署	保健福祉部福祉課	電話	2141
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	北広島市障がい者施設開放等事業補助金交付要綱、北広島市補助金等交付規則				
事務事業開始年度	平成10年度	個別計画等	なし				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち (第 4 節) 障がい福祉の充実 (施策 2) 社会参加の促進	
2 対象	在宅の障がい児・者	
3 目的と内容	夏季長期休暇中及び年末時期において、障がい児者の体験活動や日中活動を行い、障がい児者の社会参加の促進、保護者の負担軽減をはかる。また、事業の実施に当たっては、市民ボランティアに参画してもらい、障がい福祉に対する市民の理解を深めることを目的とする。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容(手段)	28年度まで	夏季3日間(8月上旬)、冬季3日間(年末)で、障害者支援施設又は市外レクリエーション施設において開放等事業を実施した。 ※ 旧事業名 (心身障がい児・者通所施設運営支援事業)
	29年度	昨年度と同様に、夏季3日間(8月上旬)、冬季3日間(年末)で、障害者支援施設又は市外レクリエーション施設において開放等事業を実施。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成	長期休暇時の障がい児・者の日中活動への助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	夏季長期休暇及び年末時期の開放等事業の実施は、大変好評であり、事業の実施にあたっては市民ボランティアを活用するなど、市民等への障がい福祉の理解に大きく貢献していることから、今後も継続して事業を実施する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			908		923		923		923	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	908		923		923		923	
	① 合計	908		923		923		923		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0
総事業費①+④			1,748		1,763		1,763		1,763	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①開放事業延参加者数	目標値	100	100	100	100
		実績値	113			
	②開放事業総事業費(補助分直接事業費)	目標値	923	923	923	923
		実績値	908			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	①	【指標の定義(算式等)】	目標値			
		実績値				
	②	【指標の定義(算式等)】	目標値			
		実績値				
	③	【指標の定義(算式等)】	目標値			
		実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	夏季長期休暇期間中及び年末時期の事業実施であり、障がい児者の社会参加の促進、日中活動の場の確保は重要であり、妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	障がい児者の社会参加の促進、日中活動の場が確保されるとともに、保護者の負担軽減が図られており、利用者にはとても好評である。実施団体との協議で、より成果が達成されるよう努めている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	参加者増には経費の増額が必要であり、現状では余地がないものとする。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業者は、ボランティアを活用するなど経費削減を行っており、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 94

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	障がい者施設開放等支援事業		
交付先の名称 及び代表者名	社会福祉法人 北ひろしま福祉会	設立年	昭和23年
構成員(団体)数	315人(正職員)		(29年3月末現在)
交付先団体等の 活動目的	障がい児者の地域生活に必要なサービスを提供し、障がい児者が安心して暮らせる地域社会を目指す		
交付先団体等の 活動内容	第1種社会福祉事業及び第2種社会福祉事業等の経営(障害者支援施設、障がい福祉サービス等)		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	908	908	908	
	参加費	104	101	105	
	自己負担金	695	624	794	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	1,707	1,633	1,807	
支 出	人件費	149	247	240	
	事業費	1,558	1,386	1,567	
	支 出 合 計 (C)	1,707	1,633	1,807	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	53 %	56 %	50 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	人件費・事業費	人件費・事業費	人件費・事業費	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	1,208	1,100	1,217	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	75 %	83 %	75 %	
	補助・交付金の算出根拠	北広島市障がい者施設開放等事業補助金交付要綱、北広島市補助金等交付規則			